

ふれあいKAWACHIネット

第61号 平成30年8月
 発行：河内教育事務所
 ふれあい学習課
 TEL：028-626-3183
 FAX：028-626-3180

地域の子どもたちのために

今年度の「河内地区ふれあい学習推進会議」は、放課後子ども教室活動の更なる活発化を目指し、管内で活躍する本活動の関係者を委員に迎え進めています。

会議では放課後子ども教室の目的を再確認するとともに、具体的な取組に繋げるための情報交換や熟議等を行っており、その成果は今後発信していきます。

☆平成30年度ふれあい学習推進委員の皆様(順不同・敬称略)

宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課	箕輪 好恵
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課	岩上 幸代
上三川町教育委員会事務局生涯学習課	呉井 彩乃
平石中央小放課後子ども教室	今川かえで
新田小放課後子ども教室	熊倉 悦子
白沢小放課後子ども教室	黒崎真理子
明治子ども教室	岡本 貞子
本郷放課後子ども教室	黒須 桂子



地域連携教員活躍中です(^o^)

上三川町立上三川小学校では夏休みを利用して、地域の学校支援ボランティアの方々に協力していただき、様々な学習活動や体験活動を行うサマースクールを実施しています。

本事業の特長として、学習支援や書道、絵画の指導等の活動に上三川高校の生徒がボランティアとして参加していることがあります。小学生にとって年齢が近く、身近な存在である高校生に教えられることで、和気あいあいと学習や作品づくりに取り組んでいるほか、高校生にとっても自分たちの経験や力を子ども達に還元することで充実感や自信を得るなど、**お互いメリットのある活動**になっています。

サマースクールに高校生が携わるきっかけは、上三川小学校と上三川高校の**地域連携教員**が作りました。地域連携に関する**窓口が明確**なため、小学校側の高校生に参加してほしいという思いと、高校側の生徒に積極的に地域貢献させたいという思いがマッチングし、本事業の実現につながりました。

この取組を参考に、地域連携教員のネットワークを活用するなど、地域の”ヒト”資源を積極的に活用することを検討してみませんか。



拉致問題について考えました

6月5日(火)「北朝鮮当局による拉致問題について考える」をテーマに、人権教育指導者一般研修を開催しました。24年間北朝鮮での生活を余儀なくされ、2002年に帰国された蓮池 薫氏を講師に迎え、拉致の状況や北朝鮮での生活、帰国後の思いについてお話していただきました。折しも米朝首脳会談を直後に控え、拉致問題への関心が高まっていたため、例年より多くの方に参加していただきました。講演後のアンケートでは、拉致問題を人権問題と捉え、拉致被害者全員の早期帰国を願う旨の感想が多数ありました。

様々な人権問題を正しく理解し、自らの課題としてとらえ、地域社会における「互いに尊重し合う行動」につなげるため、今後も本研修の開催に取り組んでいきますので、御理解と御協力をお願いします。



SNS等ネットの問題について考えました

7月12日(木)「インターネット時代を生きるために必要な力」をテーマに、PTA指導者研修Ⅰを開催しました。本研修は、NetMam代表 野々口 真由美氏を講師に迎え、急速に進む情報化社会におけるネット環境や情報機器との関わり方について考えることを目的としました。豊富な事例と穏やかな口調ながらも説得力のある内容に、SNS等に大人がどう向き合っていくのか、子ども達にどう付き合わせていくのかを考える貴重な機会になりました。

また、平成29年度優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した宇都宮市立清原南小学校が事例発表を行いました。地域と協働した取組は単位PTA活動の参考になったことと思います。

Net Mam



ふれあい学習に関する情報をお待ちしています。

生涯学習に関すること、学校と地域の連携・協働に関すること、社会教育主事(有資格者)として頑張っている〇〇さん等の情報をお寄せください。

河内教育事務所ふれあい学習課 TEL 028-626-3183